

イタリアでの成功をバネにして、2015年から活動の拠点を移した本場アメリカでイエロージャケッツのツアーに参加するなど頭角を現わしてきたジャズ・ギタリスト、それがダリオ・キャッツリーノ。彼が新加入したスピリット・フィンガーズも大きな注目を集めた。

# DARIO CHIAZZOLINO

## “スピリット・フィンガーズ”の 3人は独自のスタイルと音楽性を持った驚異的なミュージシャンだ

ダリオ・キャッツリーノ

1985年、イタリア・トリノ出身。12歳でギターを手にすると、14歳からすでにギラをもらって演奏していた。2006年のウンブリア・ジャズ・フェスのベスト・ギター・プレイヤー賞を皮切りに、2007年にはトリノ・ジャズ・ラボラトリーで作曲賞、2011年にはイタリアン・ジャズ・マガジンでベスト・ギタリスト賞などを獲得。2010年にギター・トリオ編成のライブ・アルバム「Bewitched」でリーダー・デビュー。2016年発表の「Red Cloud」が双頭龍賞も含めると通算8枚目を数える。2015年からニューヨークを拠点に移して活躍中。

琢磨してみたかった。

—アルバムについて聞かせてください。

2012年に録音した

「Lost in the Jungle」では、ポップ・ミンツァー(sax)、ラッセル・フィランテ(p.kb)、ジミー・ハスリップ(b)が参加しています。

**ダリオ**：イタリア人プロデューサーのピノ・デエリのアイデアだった。違う文化、異なる世代のミュージシャンを引き合わせようという発想だね。あのとき、僕は26歳で、彼らと共演できたことはとても光栄だった。

—同作を録音したあと、イエロージャケッツの2012年のツアーに参加したそうですね？

**ダリオ**：まさか呼んでくれるなんて夢にも思っていなかった。これまでで最もエキサイティングな経験のひとつだね。ちょうどアルバム「タイムライン」のリリースに伴うツアーだったから、彼らのレパートリーを覚えていった。言うまでもなく彼ら4人のサウンドはがっちり固まっているから、ギターをどこでどうやって入れ込むかには気を遣ったよ。で、基本的にサックスの旋律のセカンド・ライン(ハモリ)を弾いたりした。その後、ポップ(・ミンツァー)はアメリカに来るのを薦め、サポートしてくれた。とても感謝しているよ。

—2013年にリリースした「Paint Your Life」(2012年録音)は？

**ダリオ**：自分の音楽に対して、細部に至るまで十分に考えることができた初めてアルバムだった。私の楽曲を理解してくれる共演プレ

イヤーが必要だと心の底から感じて、先に共演者を決めて、彼ら3人のテイストが自分に一番にフィットすることを前提に曲を書いたんだ。このアルバムによってソロ・アーティストとして新たなスタートを切れたと思う。

—その中のひとりがテイラー・アイグステイ(p)だったわけですね？

**ダリオ**：まさにそのとおり。自分にとってフェイヴァリットなピアニストで、まさに打ってつけの人選だった。

—現時点での8作目にして、最新アルバム「Red Cloud」(2016年リリース)は？

**ダリオ**：収録したオリジナル曲に関しては、天気や天候などの自然が人間の感情にもたらす関連性をイメージして作った。たとえば、雨や風の強い日=不安といった感じのように、4曲目「Storm(嵐)」は怒り、5曲目「A Placid Sky(穏やかな空)」は心が落ち着く感覚をイメージしてね。こういう具合にあらかじめコンセプトを決めてから作曲したのは、このアルバムが初めてだった。

—ベースのドミニク・ディ・ピアッツァが素晴らしいプレイでサポートしていますね。

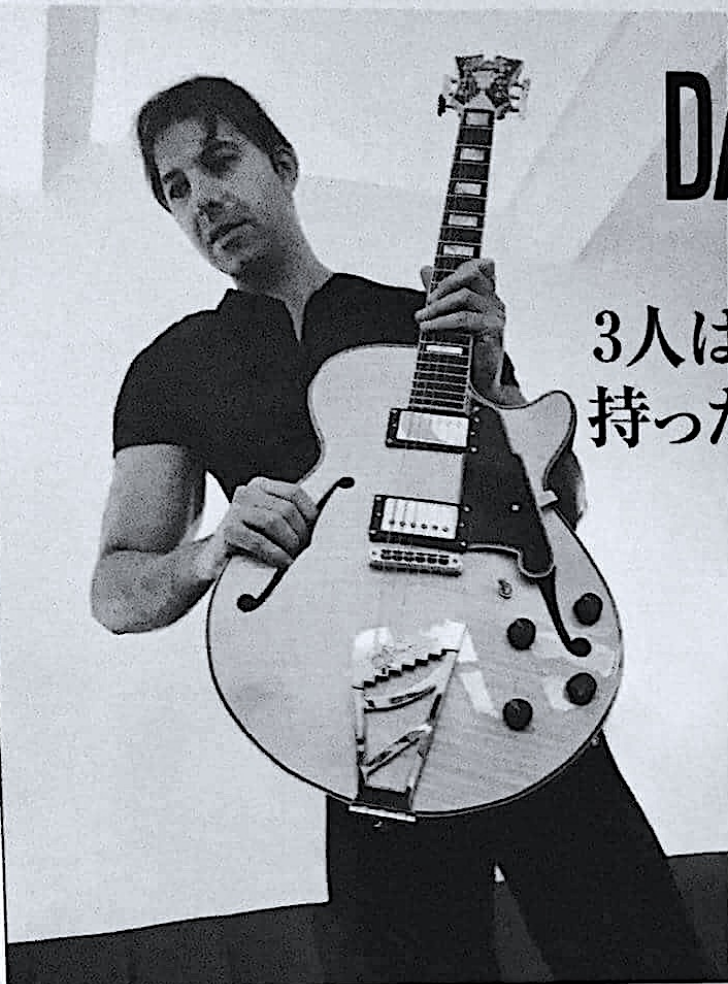
**ダリオ**：イエス！彼はベースのイノヴェーターだ。彼のテクニックはベース・アプローチを変えてしまったからね。このアルバムは、ピアノがアントニオ・ファラオ、ドラムがマス・ロシェと、自分も含めてすべてイタリア人ミュージシャンで固めたのも特徴のひとつだよ。

—ラスト曲の「Starry」のみ、アコースティックをプレイしていて、しかも独演です。どこのギターですか？

**ダリオ**：マーティンD-28を弾いている。

—楽器の話が出たところで、使用機材について聞かせてください。現在メインで使用しているギターは？

**ダリオ**：半年ほど前からディアンジェリコのエクセルSSモデルを使い始めた。新しいモデルで、とても良いギターだよ。それまでは長い間ギブソンES-135がメインだった(注：アルバム「Paint Your Life」や「Confidence」、「Red Cloud」のジャケットに写っている)。



### 半年ほど前からディアンジェリコのエクセルSSモデルを使い始めた

—ジャズを聴くようになったきっかけは？

**ダリオ**：ロックを聴いているうちに、だんだん物足りなさを感じていったんだ。もう少し洗練されていて、ハーモニー的にも変化のある音楽をこく自然に探していた。そんなときにふとチャーリー・パーカー(as)を耳にしたのを切っ掛けに、いろいろなジャズのレコードを聴くようになったんだ。

—大きく影響を受けたジャズ・ギタリストを3人挙げるとするならば？

**ダリオ**：難しい質問だね(笑)。強いて挙げるならば、ウェス・モンゴメリー、ジョー・パス、ジム・ホールの3人だね。

—トランスクリプトはよくしましたか？

**ダリオ**：いや、あまりしなかった。誰かのソロをコピーするというより、曲全体がどういったコンセプトで作られ、演奏されているかに注意を払って一生懸命聴いた。

—現在はニューヨークを拠点に活動されていますが、いつ移られたのですか？

**ダリオ**：2015年からだ。ジャズのメッカなのは疑う余地がないし、世界中から集まったハイ・レベルなジャズ・プレイヤーがひしめき合っている。前々からそういう中で切磋

ア. フェローらが集結したスーパー・プロジェクトにダリオが新加入



**Spirit Fingers**  
Spirit Fingers  
インポートメント  
[AGATE] AGIP-3814  
3月30日発売予定

●ウィンシーが絶賛したグレッグ・スピーロ(p)、マクラフリンに見出されたアドリアン・フェロー(b)、スタンリー・クラウの重宝を受けるマイケル・ミッチェル(ds)、そしてダリオ(g)。このグループのデビュー・アルバムは国内仕様盤が3月30日にインポートメントから登場！ハードコアかつハイ・クオリティな最新ハイパー・フュージョン・サウンドが全編で展開されている。



実力派4人が集結した、期待のコンテンポラリー・ジャズ・グループ「スピリット・フィンガーズ」。左からダリオ・キャッツリーノ(g)、アドリアン・フェロー(b)、グレッグ・スピーロ(p)、マイケル・ミッチェル(ds)。

—ピックは分厚いものなのでしょうか？

**ダリオ**：イタリアのメーカー、エッセティピックスで、木と石を含んだ特殊な素材でできているんだ(注：防弾チョッキに使われるケブラー繊維を素材としている)。

—ギター・アンプはどこのものを？

**ダリオ**：DVマーク。メーカーとは2年前からコラボレーションさせてもらっていて、つい先日L.A.で開催されたNAMMショーのDVマークのブースでデモンストレーション演奏をしてきたところだよ。サウンドも素晴らしいし、なによりもとても軽量だから持ち運びに便利なのが魅力だよ。

—あなたがフィーチャーされているニュー・ジェネレーション・トリオ名義の「The Night Gig」(2016年リリース)はリーダー作と捉えていいでしょうか？

**ダリオ**：このアルバムは、ドラムのミシェル・イライアとハモンド・オルガンのメッコ・グイディと3人で、2016年にイタリアをツアーした際、ヴィラ・ベッキオのクラブでの模様を収録したんだ。だから厳密に言うと、自分のリーダー作とは言えないかもしれない。でも、将来的にはこの3人でまたツアーをすることも考えている。

**長年にわたって取り組んできたソロ・ギター・アルバムを作るつもりだ**

—そして今年3月にはピアノのグレッグ・スピーロ、ベースのアドリアン・フェロー、ドラムの若手マイケル・ミッチェルとの「スピリット・フィンガーズ」のデビュー・アル

バムがリリースされます。このグループには、どういった経緯で参加されたのですか？

**ダリオ**：バンド自体は2015年に結成されていて、当初は違うギタリストだったんだ。ほくは2016年6月にL.A.で行なわれたアルバムのレコーディングに呼ばれたのが最初で、そのあとシカゴ、ニューヨーク、アトランタ、インディアナポリスなど全米の主要都市を回るツアーに参加した。3人共独自のスタイルと音楽性を持ったインクレディブルなミュージシャンだから、ずっとエキサイティングしっぱなしだったよ。

—アルバムを聴きましたが、ハイ・クオリティなサウンドとパフォーマンスが全編にわたって展開されていて素晴らしいかったです。

**ダリオ**：そう言ってくれてほっとしたよ。あのレコーディングは、ほくにとても大きなチャレンジだった。というのも要請が数日前と急で、録音に向けての準備期間が3日間しかなかったんだ。おまけにレパートリーはすべて難度が高くて、でも結果的にはとてもうまくいったと思っている。

—このアルバムでは、アコースティック・ギターをプレイしている比率がとても高いですね。どこのナイロン弦ギターですか？

**ダリオ**：ゴダンのACS-SA。なんと言ってもフィードバックがないのが最大の利点だね。

—あなたから見た現在のNYのジャズ・ギター・シーンの印象を聞かせてください。

**ダリオ**：基本的にコンテンポラリーとトラディショナルのふたつの流れあって、どちらにも独自のカラーとパーソナリティを持った有

能な人材がひしめき合っている。だから、この街に住み始めてから多くの発見をすることができたよ。これはあくまでも個人的な見解だけど、最先端のアプローチであっても、良い意味でも悪い意味でも従来のルーツに根差しているように感じる。けれども常に変化し続けているし、これからもどんどん進んでいくと思うよ。

—最後に今後の予定を教えてください。

**ダリオ**：ソロ・ギター・アルバムを作るつもりなんだ。というのも、自分は長年にわたってソロ・ギターに取り組んできていたから。それから、スピリット・フィンガーズでの世界ツアーが3月から組まれている。いずれにせよ、2018年はエキサイティングな1年になりそうだよ。



Selected Discography of **DARIO CHIAZZOLINO**



**Lost in the Jungle**  
Principles Sound  
Tukool Records  
●イエロージャックのホブ・ミンシア(hax)、ラッセル・フェランテ(kb)、ジミー・ハスプリー(b)を迎えて、2012年発売の録音。2014年にリリースされた、ドラムはダリオと同じイタリア人のジャンニ・フランカが、2014年に参加している。



**Paint Your Life**  
Dario Chiazolino  
Tukool Records  
●テイラー・アイクステイ(p)、マルコ・パニコス(b)、ウィリー・ジョーンズ(ds)を迎えて、2012年にNYで録音されたアルバム。2013年にリリース。8曲のうち7曲が自身のオリジナルで、残り1曲はスタンダードの「シア・イス・ノー・グレイター・ラヴ」。



**Confidence**  
Dany Noel & Dario Chiazolino  
D&D Records  
●2013年にスペイン・マドリードのスタジオで収録されたベース・プレイヤーのダニー・ノエルとのデュオ・アルバム。4曲目はキャロル・キングの名曲「君の夫たち」もカバーしている。2014年リリース。



**Red Cloud**  
Dario Chiazolino  
Tukool Records  
●アントニオ・フラオ(p)、ドミニク・ディ・ピアツァ(b)、マヌ・ロシエ(ds)を迎えて、2014年にイタリアのトリノで録音。2015年に発表されたダリオの個人名義では最新作。全9曲のうち8曲が本人の書き下ろしの他、マイルス・デイヴィスの「ソラー」も収録。



**The Night Gig**  
New Generation Trio  
Believe Digital  
●ダリオ・キャッツリーノ(g)、ミシェル・イライア(ds)、メッコ・グイディ(org)の3人から成るオルガン・トリオで、2016年にイタリアをツアーした際、ヴィラ・ベッキオのクラブで収録。ダリオのオーソドックスなジャズ・プレイを堪能できる。

# JAZZ LIFE

2  
M

## ギター 新次元へ

**カート・ローゼンウィンケル**

新プロジェクト「バンディット65」を率いて来日

**ジュリアン・ラージ**

ニュー・アルバム「MODERN LORE」を語る

**ダリオ・キッツォリーノ**

イタリア・トリノ出身の注目ギタリスト

モダン・ジャズ再考  
**チャーリー  
パーカーの遺作**  
「ナウズ・ザ・タイム」研

ジャズ遺産を継  
**ハンク・ジョーンズ**  
生誕100周年  
**ジュニア・マンホーン**  
生誕90周年

# M I H O

COVER STORY

挟間美帆、名門メトロポールオーケストラ・ビッグバンドとの共演作  
「THE MONK: LIVE AT BIMHUIS」をリリース

# H A Z A M A

INTERVIEW & LIVE REPORT  
ルイス・ヘイス / ゴーゴウ・ペンギン  
ジェイソン・モラン / Moon / 佐々木優花  
DEZOLVE

SCORE  
レイジー・バード  
カート・ローゼンウィンケル  
ザ・マン・アイ・ラヴ  
ハンク・ジョーンズ  
ア・フォギー・デイ  
スタンリー・タレンタイン  
ナウズ・ザ・タイム  
チャーリー・パーカー